



令和6年8月10日発行



虹がかかった日

(写真：十日町高校松之山分校生徒会)

CONTENTS No.82

議会をPick-Up!	2P
一般質問	3-9P
議案の審議結果	9-10P
議会レポート	11P
永年在職表彰	12P

6月定例会

● 議会をPick-Up!

令和6年第2回定例会

会期 6月14日～24日(11日間)

審議の結果は、9ページから10ページに掲載

6月の定例会は、市長提出議案27件、請願3件、議会提出議案2件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算〔第3号〕

〔主な事業および内容〕

●市営バス運行事業（吉田地区）

令和6年4月から平日5往復／日の運行を開始した市営バス吉田線（クロステンII絵本と木の実の美術館）について、大地の芸術祭期間中の来訪者等の利便性向上を図るため、期間中の土・日・祝日の運行を2往復／日を行います。



●看護師・理学療法士等修学資金貸与事業

将来市内の病院、診療所、介護施設等において医療・介護に従事しようとする学生に対する奨学金貸与事業について、新規の貸与希望者が当初の見込みを大幅に上回ったことから、不足分の事業費を追加します。

●木造住宅耐震対策事業

災害に強いまちづくりを推進するため、昭和56年5月以前に旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震診断費及び耐震改修費に対する補助金について、申請者数が当初の見込みを上回ったことから、不足分の事業費を追加します。

●学区適正化検討事業

中学校のあり方検討委員会からの提言を受け、学区再編計画の方針決定に向けた検討を進めていきます。



●遺跡調査・遺物整理事業

東北電力の鉄塔経年劣化対策工事に伴う試掘調査において、上山大原遺跡（上山地区）が確認されたことから、建設に先立ち、記録保全のための本調査を実施します。

●スポーツ振興事業

「子ども活動支援金※」の交付決定を受けたことから、幼児児童の体力向上を図るため、こども園での放課後運動教室ほか幼児を対象にした運動能力測定・運動教室などのプログラムを実施します。 ※（公財）ライフスポーツ財団が、身体を動かす機会が減少している子どもたちの健全な心身の育成を目指し、スポーツや遊びの機会を提供する市町村に対し交付する支援金

Pick-Up 03

契約の締結

●物品の購入

老朽化に伴い、本庁に除雪ドーザー1台、中里・松代・松之山にそれぞれロータリー除雪車1台を購入します。



Pick-Up 02

条例の見直し

〔主な内容〕

●里創プラン松代ステーション（農舞台）条例及びまつだい郷土資料館条例の一部改正

施設の適切な維持管理に必要な財源を確保し、芸術作品としてさらなるブランドを確立するため、利用料金を改定します。



まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」設計=MVRDV



まつだい郷土資料館

Pick-Up 04

意見書の提出

議員が提出した次の意見書を可決しました。内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るよう要望します。

●緊急事態に関する国会審議を求める意見書

Pick-Up 05

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。

【人権擁護委員】

田村 豊氏

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、12人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。

質問議員	質問事項	ページ	質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	国保川西診療所の建て替え、観光統計の整備について	3	富井高志	人口減少に対する取り組み・中学校のあり方・不登校	6
富井春美	県立十日町病院の分娩再開を	4	滝沢貞親	消滅可能性自治体および客観的検証による財政健全化	7
大嶋由紀子	市長の進退と大地の芸術祭について	4	吉村重敏	笹山遺跡広場活用・紅陽の写真展示・信濃川の中抜け問題	7
高橋俊一	当市の防災・減災に関してと貧困世帯対策に関して伺う	5	嶋村真友子	除草剤散布の周知について・選挙の投票率を上げよう	8
鈴木祐一	新潟ふるさとCM大賞の取り組みと市民プールについて	5	鈴木和雄	希望が持てる農業を・ワクワクするような学校づくりを!	8
関口立之	十日町市における地域の人のつながりと「社会的処方」について	6	滝沢繁	原発再稼働に対する市長の所信を問う	9

質問 観光立市の実現に向けて観光統計の整備が必要と考えますが、市の考えは。

答弁 十日町市の観光業をさらに推進するにあたり、施策の基本となる観光

統計は、成果や反省すべき点を市民の皆さまにお知らせする上で最も重要なインフラの一つだと捉えています。情報収集作業はコストも手間もかかりませんが、観光業者の理解を得ながら統計の内容を充実させるべく整備を進めていきます。観光統計は効果測定の指標であり、近年の観光需要の多様化や外国人観光客の増加などを把握・分析し、誘客促進や観光施策のPDCAサイクルに反映させるものです。今後も観光客のトレンドを見える化し、地域のブランディングを推進して観光業を地域経済の柱にしていきたいと考えています。



人にやさしいまちづくり



国保川西診療所の建て替え・
観光統計の整備について
星名大輔 議員





県立十日町病院の分娩再開を

富井 春美 議員



質問 今後の周産期医療について次の点についてどのように考えるか伺います。
① 医師の働き方改革より医師不足に対応し医師を増やすことが、今求められていると考えるがいかがか。
② 分娩が再開する条件は何か。
③ 県立十日町病院は救急告示病院、災害が起きた時の災害拠点病院の機能がある点からも産科開設は行政の責任においてやるべきではないか。
④ 将来、県立十日町病院の分娩を再開するビジョンはどのように考えているか。

配置は課題となつていきます。新潟大学や県病院局にしっかりと要望し、市としてできることもお伝えしながら、課題解決に向け取り組んでいく覚悟です。
④ 十日町病院においては分娩再開の可能性はあると思います。病院経営の安定には一定の分娩数が必要です。長い将来を見通したときにこの地域の分娩体制をどうするのかということが大きなテーマとなります。基幹病院、十日町病院、たかき医院の状況を分析し、県福祉保健部や病院局としっかりと話し合いながら中・長期的なプランを策定する必要があると考えています。

答弁 ① 県では医師の地域枠を増設し、新潟大学でも医学部の定員を増やしています。当市においても医師確保に対する手厚い補助金等を準備しており、県、また市を挙げて医師確保に努めているところとです。
② 医師の働き方改革に対応できるだけの産婦人科医が確保できるかということと、人口減少が進む地域の中で分娩数も、再開に係る判断基準の要因になるものと考えています。
③ 環境が変わり、県も昔のように医師を大学からお送りいただくことが難しくなつていくことをご理解ください。そうした中、県には県全体の周産期医療医師確保をお願いしており、医師は増えていますが、十日町病院への



地域中核病院の県立十日町病院



市長の進退と大地の芸術祭について

大嶋 由紀子 議員



質問 市長の進退について伺います。市長には幅広い権限が集中することに鑑み、市長の職に同一の人物が長期にわたり存在することにより生じるおそれのある弊害を防止するため、市長の任期期間を定め、清新で活力のある市政運営を確保し、その硬直化を防ぐことを目的とする条例を定める自治体もあります。長期における弊害は否めないと感じるところもあります。4期が終わりますが市長はその点どのように感じられますか。

答弁 令和6年度の予算額ですが、北川氏が代表取締役会長を務める株式会社アートフロントギャラリーへの委託料は、大地の芸術祭のディレクター委託料として1000万円、ほかに芸術祭の運営委託や廃校施設への作品設置委託などで3億1240万円、合計3億2240万円です。また、北川氏が理事長を務めるNPO法人越後妻有里山協働機構への委託料は、市内10施設の指定管理委託料として7436万円の事業の委託などで9463万円、合計1億6899万円です。なお、この委託料の財源には、補助金や協賛金、芸術祭のパスポートの売上げなどにより、3億8631万円が充当されます。

答弁 進退については、今は目の前の課題解決に全力を尽くす時期と考えています。首長には予算策定・予算執行・人事権など、大きな権限があり、責任のある立場だと常に感じています。多選については、その時々判断になると思います。一般論では多選の弊害という考え方があることは十分理解しております、そうしたことを常に考えながら今後も自分の責任について考えていく必要があると思つています。



作品を使って、誘客に努める戦略は果たして上手くいくのか?



当市の防災・減災に関してと 貧困世帯対策に関して伺う

高橋 俊一 議員



質問 ①市の避難訓練や避難所開設訓練はどのようにしているか。②各自治体や小中学校での避難訓練内容をごとまで把握しているか。

答弁 ①大規模土砂災害や原子力災害を想定した国県との合同訓練のほか、全指定避難所の開設訓練などを行っています。②昨年度は、市内296の自主防災組織のうち、114組織が訓練を実施しました。小中学校では、火災・地震等を想定した年3回以上の避難訓練や不審者対応訓練を行っています。

質問 市内の建物及び上下水道の耐震化率及び法定耐用年数を超えた距離の割合並びにその住宅対策を伺う。

答弁 市所有施設の耐震化率は80.2%、避難所に指定された小中学校の耐震化率は100%で、一般住宅耐震化率は約73%と推計されます。市内水道管約79.2kmのうち、耐震管は18.8%、一定の耐震性を有する管を含めると33%で、法定耐用年数40年超の水道管は18.3%です。下水道管は全体で約466kmのうち耐震化率は12.9%で、法定耐用年数50年超の管はなく、旧耐震基準住宅は、耐震診断、耐震補強の補助事業を継続実施中です。

質問 生活保護申請をしないまま苦し

い生活にある世帯への対応を伺う。

答弁 市では、社会福祉協議会に委託して自立相談や就労準備などを支援しています。また、ケースワーカーに加えて相談員を配置し、保健師等と連携して、生活状況を考慮しながら必要と判断すれば保護による支援に繋がります。

質問 子のひきこもりが長期化してしまい、親も高齢化で対応できない状況での社会的支援・保護の対策を伺う。

答弁 市では市民団体と協力しながら「ひきこもりサポート事業」に取り組み、社会的自立に向け継続した支援を行っています。

●十日町市の過去の地震被害(抜粋)

新潟県中越大地震(平成16年10月23日発生)

●十日町市の建物被害(平成18年4月1日現在)	
家屋全壊	107戸
大規模半壊	156戸
半壊	962戸
一部損壊	13,733戸

●十日町市の人的被害(平成18年4月1日現在)	
死者	9人(※うち災害関連死6人)
重傷者	70人
軽症者	522人

(出典：十日町市地域防災計画)



新潟ふるさとCM大賞の取り 組みと市民プールについて

鈴木 祐一 議員



質問 新潟ふるさとCM大賞は県内外に新潟の魅力を発信する各市町村が制作したCMのコンテストです。今後の十日町市観光事業に繋がる映像発信の核になる企画とも思うが今後の取り組みについてお尋ねいたします。

答弁 この番組企画は、県内の市町村が地元愛あふれるCMを制作することで、地域の一体化を醸成し、県内外への発信を通じて地域の活性化を図ることを目的に実施されています。CMは、市のホームページや市公式YouTubeチャンネルで配信し、また県のインターネットショップやメディアでも使われており、市のPRツールの一つとして活用しています。市内外の観光スポットや観光イベント時に活用できる内容にすることで利用価値が高まることから、今後もこれらを念頭に置きながら制作していく考えです。

質問 十日町市市民プールの今夏の営業はどうなりますか。また、営業を再開する場合修繕費等どのくらいの費用がかかりますか。今後は中学校のプールを利用することなども考えられるが検討されていますか。

答弁 市民プールの営業は、施設の老朽化、監視員等の人員確保など、安全

な施設運営が難しいことから令和2年度より休止しており、令和6年度についても開設は難しい状況です。今後の市民プールの在り方について、課題や他施設の利用状況、再開による費用対効果等を踏まえ検討し、方向性を示したいと考えています。なお、再開のための復旧には概算で1億円以上かかる見込みであり、幼児用トイレの改修や熱中症対策などの整備も必要となります。中学校のプールの活用については、一般開放するためには相応の改修が必要となるので、運営方法も含め、その可能性も研究したいと考えます。

●過去のCM大賞作品



●現在の市民プール





消滅可能性自治体および客観的検証による財政健全化

滝沢 貞親 議員



質問 十日町市が消滅可能性自治体に挙げられたことに関して

①「消滅可能性自治体」の定義

②十日町市の社会的人口推移

③社会的人口減に対する対策と評価

答弁 ①20〜30代の女性人口が30年後に半数以下になると推計される自治体を「消滅可能性自治体」と定義しています。②令和元年度以降、コロナ禍による増減はありますが、毎年度おおむね400〜450人程度の社会減が横ばいで推移しています。③出会いの場の創出や子育て環境の充実、移住者支援などを実施しています。また、地域おこし協力が地域で活躍し、退任後も定住するなど市の応援団が増え、Uターンされた方の活躍などが地域の活力につながっていると考えています。

質問 人口減や少子高齢化による「税収減」は明らかであることを踏まえ

①今後の財政規模およびその方向性

②収入減でも確保すべき重点施策

③施設及び事業の継続・中止の過程

④市民に分かりやすいデータでの検証

⑤市民モニター利用での意見集約

答弁 ①②市長就任時より社会全体の大きな潮流を見極めながら、慎重に方針を定め、タイミングを逃さず大胆に

先行投資をしてきました。これからは30年以上続いた長いデフレの時代からの脱却が見通せる新たな局面にトレンドが変わったものと期待をしています。なお、当市の中期財政計画では、令和10年度に予算総額で3・6%の減を見込んでいますが、将来の財源不足に備えるため、基金の取り崩しを最小限としたことなどが歳入減の要因となっています。歳出では、必要なところに必要な予算を充てていく計画としています。③客観的データを積み上げながら慎重に判断しています。④⑤他自治体の手法等を参考に検討していきます。



笹山遺跡広場活用・紅陽の写真展示・信濃川の中抜け問題

吉村 重敏 議員



質問 新博物館は国宝の保存と展示、笹山遺跡は出土地の魅力発信と役割分担を整理してからも笹山振興策は進まない。現状認識と将来の考えを伺う。

答弁 新博物館は、令和2年6月のオープン時にコロナ禍の影響を受けたものの、縄文国宝を所蔵する館として独自の特別展の開催などに取り組み、文化観光の拠点の一つとして機能し始めています。笹山遺跡については、コロナ禍により魅力発信が不十分でした。今年度、笹山縄文広場整備基本計画を策定し、財源を確保しながら遺跡周辺の活用に向けて準備をしていきます。

質問 岡田紅陽富士山写真を常設展示しないか。世界に富士山を広めた大功績なのに名誉市民でないのはなぜか。

答弁 常設展示は長期間となり、作品に負荷がかかるため、展示場所や環境などを勘案しながら鑑賞機会を増やすように検討していきます。また、来年度は市制施行20周年を迎え、岡田紅陽氏の生誕130周年にも当たることから、企画展の開催を検討したいと思えます。なお、名誉市民については、まずは岡田氏のご功績を広く周知することが大切であると考えます。

質問 飯山市から中里まで千曲川、信濃川39・65kmは国の直轄で無い、中抜け状態である。大洪水が心配で喫緊の課題だ。5市町村が内閣人事局などに昨年要望したが、その回答はいかがか。

答弁 令和2年10月に国土交通大臣に直接要望を行い、昨年7月には国直轄区間への編入に向け、内閣人事局並びに財務省主計局に対し必要となる人員と予算の確保を要望し、それぞれの部署において真摯に受け止めていただいたものと認識しています。今後も関係市町村と連携し、国に対して直轄区間編入実現への活動を継続します。



笹山遺跡広場の笹山じょうもん市 2024.6.2 風のダンサーズ



除草剤散布の周知について・ 選挙の投票率を上げよう

嶋村真友子 議員



質問 ① 保育園や学校での除草剤散布の有無と管理体制について② 教育委員会で除草剤散布の周知の徹底をする考えはあるか③ 主に除草されている管理員の情報交換の場はあるか。また、除草方法の記録はされているか。

答弁 ① 市内22の保育園・こども園のうち、公立4園では刈り払い機で除草し、私立6園では園児のいない休日に除草剤を散布しています。保管方法は保管庫に施錠するなど安全に管理しています。市立学校では28校のうち27校が除草剤を安全面に配慮して散布しています。購入後すぐに使用するため校内での保管はありません。② 危険がありご心配をかけるような状況があれば、学校への周知を検討したいと思っております。③ 管理員の情報等交換の機会は現在ありませんので、今後、関係課と協議したいと思えます。なお、散布記録については7校で教頭が学校日誌に記録していますが、詳細については今後調査します。

質問 ① 投票率を向上するためにSNSでどのような広報をされているか。② 明るい選挙推進員はどのような活動をされているのか。③ 学生や20代も推進員になれるのか。



総務省 (公財) 明るい選挙推進協会・若者選挙ネットワーク



希望が持てる農業を・ワクワクするような学校づくりを!

鈴木和雄 議員



質問 当市農業の課題に応えた地域計画は、どこに主眼を置くのか。

答弁 地域計画の策定においては、農業を担う者の確保、経営規模の拡大、農地の集積と集約化が重要なテーマであり、地域座談会後に農業委員会主導の目標地図作成作業の中で議論を深めていく予定です。市では生産性向上やコスト削減のための基盤整備の推進、スマート農業の普及を図るとともに、経営規模拡大に意欲的な認定農業者などの地域農業を担う者の確保と支援を主眼に努めていきます。

質問 第三次総合計画策定の中で、① 農産物の販売戦略の明確化② 多様な担い手が農業に関われる環境づくり③ 循環型農業で地域の経済力の向上④ 次世代育成の戦略⑤ 農業農村の多面的機能の発揮を、どのように反映するのか。

答弁 ご指摘いただいた5つの視点について非常に重視しており「なりわい」から「産業」「企業」として独立できよう、しっかりと応援していきたいと考えています。また、その取り組みが他の農業者に刺激となり、後に続く方を一歩前に後押しするような農政を進めて行きたいと思えます。

質問 人口減少と少子化が進む中、子

地域の農業・農地を次世代に引き継ぐために

《3つの大切な問い》

- ① 自分たちの農地をどうしていきたいか
思いがなければ、何も始まりません
- ② 地域で守りたい農地・保全したい農地はどこか
在りたい姿(目標)を具体的にすることが必要です
- ③ そのために何ができるか
自分たちに何ができるかを考えることが必要です

《絵にかいた餅にしないために》

- ① (計画を) 知ってもらおう
 - ② (計画を) 共有してもらおう
 - ③ (取り組みに) 参加・協力してもらおう
- そして、継続していく

出典：地域計画策定に向けた地域座談会資料

再稼働の同意権を与えてほしいという論調にはくみし
再稼働の同意権を与えてほ
思っています。このため、
伝えることが市長の仕事だ
市民の意見を客観的に捉え、
答弁 知事に地域の実情や

が義務付けられています、
市の考えを再稼働に反映さ
せるためにも、市が事前同
意権を持つ安全協定を締結
すべきと考えるが如何か。
質問 U P Z の圏内で避難計画の策定

質問 新潟日報による柏崎刈羽原発再
稼働に関する県内市町村長へのアンケ
ートでは、明確に再稼働反対の人もい
る。事故が起きれば住民の命も、暮ら
しも、なりわいも一遍に吹き飛びます。
再稼働への市長の所見を伺います。
答弁 再稼働の決定権者は知事だと思
っています。県内自治体の一つとして、
市民の意見をしっかりと知事にお伝え
することが市長としての使命だと考え
ています。「現時点では市民の意見を
完全に把握できていないため、市長と
して判断できない」と認識し、アンケ
ートに答えました。いづれ知事から意
見を求められた際は、市民の意見を取
りまとめ、明確に伝える覚悟です。



原発再稼働に対する市長の
所信を問う

滝沢 繁 議員



遠くに見る福島第一原発

質問 安全な避難計画ができるまでは
再稼働すべきではないと考えるが、当
市の避難計画をどう考えているのか。
答弁 豪雪時の避難が非常に厳しいと
思っています。数年前柏崎で国道が止
まり、福島の事故から13年が過ぎても
避難路で何か安心できる方向で整備が
進んだものがあるかは、市民の皆さん
にも考えていただきたいと思えます。

質問 十日町市長として再稼働賛否の
判断材料は何か伺う。
答弁 一番重要なのは市民の声です。
再稼働は、自身の主義主張で判断でき
るような問題ではありません。5万人
の民意を把握するべく、努力していき
たいと思っています。

ていません。

議案の審議結果



6月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	56 専決処分の承認について (令和5年度十日町市一般会計補正予算 (第14号))	—	全員賛成	承認
	57 専決処分の承認について (令和5年度十日町市一般会計補正予算 (第15号))	—	全員賛成	承認
	58 専決処分の承認について (十日町市税条例の一部を改正する条例)	—	全員賛成	承認
	59 専決処分の承認について (十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例)	—	全員賛成	承認
	60 専決処分の承認について (十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	—	全員賛成	承認
	61 専決処分の承認について (令和6年度十日町市一般会計補正予算 (第1号))	—	賛成多数	承認
	62 専決処分の承認について (令和6年度十日町市一般会計補正予算 (第2号))	—	全員賛成	承認
	63 人権擁護委員候補者の推薦について	—	全員賛成	同意
	64 十日町市里創プラン松代ステージ条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	賛成多数	原案可決
	65 十日町市まつだい郷土資料館条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	賛成多数	原案可決
	66 十日町市地域集会施設等条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決

常任委員会は、所管事項に関する調査を行い、議案等を審査するために設置されています。十日町市議会には、総務文教・産業建設・厚生 の 3 つの常任委員会があります。



総務文教常任委員会

西小学校の5・6年生の授業を見学させていただきましたが、すでにタブレット使用の授業は浸透しており、使い方で悩んでいる児童は見あたりませんでした。

5月29日に管内視察を行いました。
飛渡第一小学校では、複式学級を参観しました。教師と共に学習する時と子ども達だけで自主的に課題に向かう場面が組み込まれていました。学習の学び方が身に付いているため、子ども達だけで意見交換したり音読したり真剣に課題に取り組んでいました。また、既習内容を想起し他学年と話題にする場面もあり、これも複式の良さと思えました。ユネスコスクールの「ふるさと環境学習」で一人ひとりの能力も高められていることと思えました。



同じ内容の授業を隣のクラスで行っていました。先生により使うソフトが違って、各先生が、どのような使い方が児童に伝わりやすいかを考えて授業を作っているのが分かります。一度構築してしまえば問題はなしいと思えますが、少し先生の負担が大きいのかなと感じました。



産業建設常任委員会

来への希望を感じました。同日午後からは有有限会社松之山きのこ中里第二工場を訪問しました。こは令和5年9月に「なめこ」の出荷を開始した最新工場で、年間生産量がおおよそ千五百トンと、全国でもトップクラスの規模を誇っています。工場内部はまるでSF映画のように見える精緻なシステムが組み込まれており、厳重な衛生管理のもと安心・安全な「なめこ」を休むことなく全国の消費者に届けていることに感銘し、地元産業のリーダーとして今後のご活躍を大いに期待できると確信しました。

5月21日に管内視察を行いました。松之山温泉バイナリー発電所は「本格稼働が開始され、世田谷区の中学校や一般家庭へ電気が届けられるようになったんです。」と、嬉しそうに語る柳さんに案内していただきました。ここは元々あった自然を残して作られているため、蛍が生息して訪れる人達に喜ばれていること、ここに発電所ができるまでの経緯などを説明していただき、松之山の人たちが先人から受け継いだ熱意と、エネルギー発電という未



厚生常任委員会

十日町病院が分娩休止となり、地域唯一の出産できる病院である「たかき医院」に伺い、高木成子理事長、仲榮美子院長より、出産数の急激な減少やコロナ禍を受けて、赤字体質に陥っている現状の説明を受けました。地域別の分娩受入れ状況は十日町が5割、南魚沼3割、津南その他と広範囲に渡っていました。市内で出産できる土台があるからこそ、他の市政の取り組みが活きます。安心して出産できる環境を守っていくことが、どれ

5月27日・30日に管内視察を行いました。十日町病院が分娩休止となり、地域唯一の出産できる病院である「たかき医院」に伺い、高木成子理事長、仲榮美子院長より、出産数の急激な減少やコロナ禍を受けて、赤字体質に陥っている現状の説明を受けました。地域別の分娩受入れ状況は十日町が5割、南魚沼3割、津南その他と広範囲に渡っていました。市内で出産できる土台があるからこそ、他の市政の取り組みが活きます。安心して出産できる環境を守っていくことが、どれ



だけ重要か痛感したところ。私立こども園長で構成される十日町子ども連盟との情報交換会では、保育の課題や現場の苦労、市からの支援が必要な部分などを共有しました。年間出生数が200人弱となり、園の経営が厳しくなる中で、子どもたちの人間形成に不可欠であり、社会的役割を担っている園をどう支援していくか、担当課と話し合いを重ねていきたいと考えています。この他にもNPO法人支援センターあんしんや妻有福祉会の障がい・高齢福祉のお話も伺ってきました。

小学生が一般質問を傍聴しました

6月17日に十日町小学校の6年生40名が、社会科見学の一環として市議会の一般質問を傍聴しました。児童たちは、緊張感あふれる議場での真剣なやり取りに耳を傾け、熱心にメモを取っていました。

**** 児童の皆さんから感想が届きましたので一部を紹介します ****

市議会見学をさせていただきありがとうございます。私は十日町が好きなので十日町をもっとよくするためにがんばってください。



市議会見学をさせてもらいありがとうございました。時間が決まっている中言いたいことを最後まで言えてすごく良かったです。



とても貴重な体験をありがとうございました。ほくも議員になりたいと思いました。

永年在職表彰



去る4月23日に開催された第99回北信越市議会議長会定期総会、および5月22日に開催された第100回全国市議会議長会定期総会において、永年在職表彰を受けました。

◎在職15年以上 遠田延雄 議員
吉村重敏 議員

表紙写真について

今号の表紙は十日町高校松之山分校生徒会の作品です。

十日町高校松之山分校生徒会



今年度で歴史を閉じる松之山分校ですが、「最後の」ではなく「唯一無二の」時間を過ごしています。残り半年、何気ない日々でも二度と戻れない時間を3年生19名で大事に大事に過ごしていきたいと思っています。

あとがき

昨年引き続き酷暑が続き、農作物の被害が少ないことを祈るばかりです。

さて、6月定例議会には、十日町小学校の6年生が傍聴にきてくれました。私が議員になってから、初めての事でした。満員の傍聴席を見て、嬉しい気持ちと真剣なまなざしに気が引き締まる想いでした。そんな中、十日町の持続可能な未来のための白熱した議論がなされました。特に一般質問や委員会でのページに注目し隅々まで読んでいただき、夏に負けない暑さを感じていただけたら幸いです。二次元コードから動画もぜひご覧ください。

(嶋村真友子)

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119
FAX 025-757-5999